



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

— あいなん音故地新 —

150周年

祖父と父も通った母校、『城辺小学校』が今年度で創立150周年を迎える。私はその記念行事実行委員会アンバサダーとして、一昨年から宮下校長とあんなことやりたいね、こんなことできたらいいね、と話し合ってきた。そのひとつが『大運動会』やった。

昔は『町民運動会』っていうのがあって、地区ごとに色分けされた鉢巻を巻き、大人たちが本気で走って、本気で競い、お腹の底から一日中笑った。そのことを思い出し、『あれ、やりません?』と提案すると『それ、ええね!』と二つ返事で返ってきた。校長、軽っ!!(良い意味で!)

そして、5月25日に開催された大運動会。一生懸命競う子どもたちに混ざって、はしゃぐ大人たちの姿が。思い描いていたもの以上の光景やった。その後、父兄や実行委員会の方々、先生方、偶然町で会った方からも『楽しかった!』『よかった!』と声をかけてもらって感無量。

あの日、私の無謀な提案を迷うことなく受け入れ、実行してくださった宮下校長、そしていつもと勝手の違う準備で大変やったやろう先生方と関係者のみなさん、大会を支えてくれた実行委員会のみなさん、盛り上げてくださった親御さんや一般の方々、その他力を貸してくれたみなさん、参加してくださったみなさん、本当にありがとうございました。子どもたちにとってもきっと特別な運動会になったはず。

次は10月4日の記念式典。子どもたちが楽しんでもくれる何かをまた考えよう。
(テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

“7月の新着図書ピックアップ”の紹介

【バリアフリー図書】

『しゅわしゅわ村のはじめてのおつかい』

くせ さなえ(作・絵)

偕成社(発行)

絵本を楽しみながら、自然と手話が覚えられる「手話ではなそう」シリーズ最新本。スーパーできゅうりを買う。友だちに会って「こんにちは またね」。焼きいもカフェで「あまくて おいしい おいも!」。イラストと同じくさをしていると、ちょっとだけ手話ができるようになります。手話を知るきっかけになる一冊。



【小説】

『熟柿』

佐藤 正午(著)

KADOKAWA(発行)

激しい雨の降る夜、妊娠中のかおりは、眠る夫を乗せた車で老婆を撥ねた。轢き逃げの罪で服役するが、出所後息子との接見を禁じられ、追われるように各地を転々とする。一度の過ちが、あったはずの平凡な人生を奪う。罪を隠して生きるかおりを通して、過去と向き合う事の難しさ、人生再生の可能性が紡がれる。



御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。

図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町
ホーム
ページ